



お知らせ

記者発表資料	平成27年2月23日
配布日	

資料提供先：岡山県政記者クラブ
岡山市記者クラブ

百間川河口水門増築事業の完成式典を 3月1日(日)開催します。

～日本一！岡山に誕生～

百間川河口水門の新水門（日本最大級のライジングセクターゲート採用）増築工事が完了し、平成27年3月1日（日）に下記のとおり完成式典を開催する運びとなりましたのでお知らせします。

式典の内容が決まりましたので「見どころ」と併せてお知らせします。

記

日時：平成27年3月1日（日）13時30分～
（気象条件等により中止する場合は前日夕刻にお知らせします。）
場所：岡山市中区沖元地先（別紙案内位置図参照）

式典概要：別紙進行要領（出席予定者）参照、セレモニーでは備前陣太鼓の演奏
見どころ①：日本一！岡山に誕生。（最新形式で中国地方初採用）
見どころ②：初放流！運用開始。（ゲートを完成後初運用します。効果絶大）
見どころ③：日本初！3世代の水門。（江戸時代の唐樋も復元展示しました。）

☆報道関係の方は事前に連絡を頂ければ、会場近傍に駐車場を準備します。
岡山の新名所として、市民の関心も高いため取材を宜しくお願いします。

【問い合わせ先】

国土交通省 中国地方整備局 岡山河川事務所

電話086-223-5101（代表・総務課）086-223-5187（調査設計課）

<担当>

副所長 庄司 俊介（内線204）

総務課長（式典内容） 門田 恵介（内線211）

調査設計課長（事業内容） 兎子 真也（内線351）

旭川放水路 百間川河口水門増築事業完成式・進行要領(出席予定者)

時間	所要時間	事項	進行内容等	備考
13:00		式典 受付開始	(百間川河口水門防潮堤広場)	
13:28	2	来賓入場		
13:30	15	オープニングアトラクション (ｽｰｼﾞ 模様替え)	※備前陣太鼓 (ｽﾃｰｼﾞ及ﾋﾞｽﾃｰｼﾞ前)	※模様替3分を含む
13:45	1	開式	【司会】	
13:46	3	挨拶	池内国土交通省 水管理・国土保全局長 代理 水資源部長 藤山秀章	
13:49	18	来賓祝辞	逢沢 一郎 衆議院議員 山下 貴司 衆議院議員 高井 崇志 衆議院議員 石井 正弘 参議院議員 伊原木 隆太 岡山県知事 大森 雅夫 岡山市長	
14:07	2	来賓紹介	則武 岡山市議会議長 保住 操明学区連合町内会長 岩城 操南学区連合町内会長 渡邊 政田学区連合町内会長 藤井 番川漁協代表理事組合長 竹原 児島湾漁協代表理事会長 小嶋 津田永忠顕彰会会長 (両備HD会長)	
14:09	2	祝電披露	【司会】	
14:11	5	工事報告	岡山河川事務所長 園田 敏宏	
14:16	3	お礼のことば	中国地方整備局長 尾藤 勇	
14:19	1	閉式	【司会】	
14:20		記念行事 ﾗｲﾝﾝｸﾞ ｾｸﾀｰﾞｰﾄ 試運転	(百間川河口水門防潮堤広場) 逢沢 衆議院議員 山下 衆議院議員 高井 衆議院議員 石井 参議院議員 大森 岡山市長 則武 岡山市議会議長 藤山 水管理・国土保全局 水資源部長 尾藤 中国地方整備局長	※スイッチオン時 ﾌﾞﾗﾝｸﾌﾞﾗﾝｸ
14:30		唐樋紹介挨拶	小嶋 津田永忠顕彰会会長	
		唐樋除幕	保住 操明学区連合町内会長 岩城 操南学区連合町内会長 渡邊 政田学区連合町内会長 小嶋 津田永忠顕彰会会長 洗井 津田永忠顕彰会事務局長 園田 岡山河川事務所長	※除幕時 ﾌﾞﾗﾝｸﾌﾞﾗﾝｸ
14:40		行事終了		

百間川河口水門増築事業完成式典 案内位置図



見どころ①

日本一！ 岡山に誕生

- 河口水門増築事業は平成13年に事業着手し14年の歳月、事業費約130億円をかけた大事業です。
- 排水能力が約2倍の2,450m³/sにアップし、河口部の洪水に対する安全度が大幅に向上します。
- 新しく増築する水門はライジングセクターゲート形式を採用。幅、重量とも**日本最大**！水門本体の高さを低くすることが出来るため、耐震性、景観性、経済性に優れます。

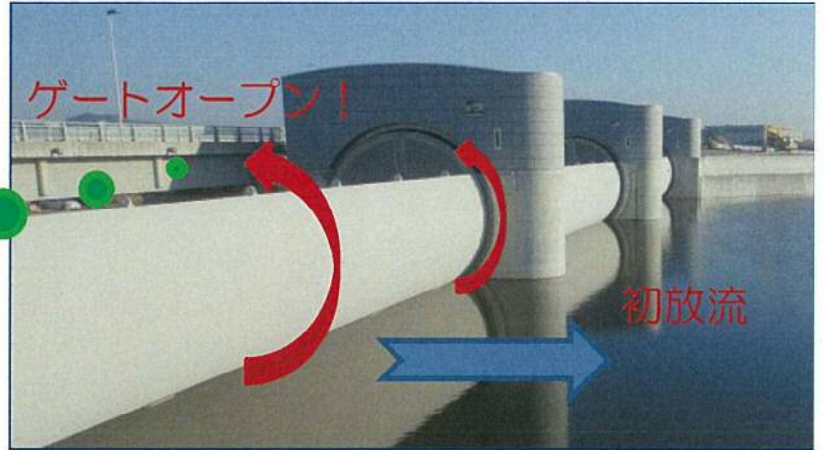
見どころ②

初放流！運用開始

～ゲートを完成後初運用します～

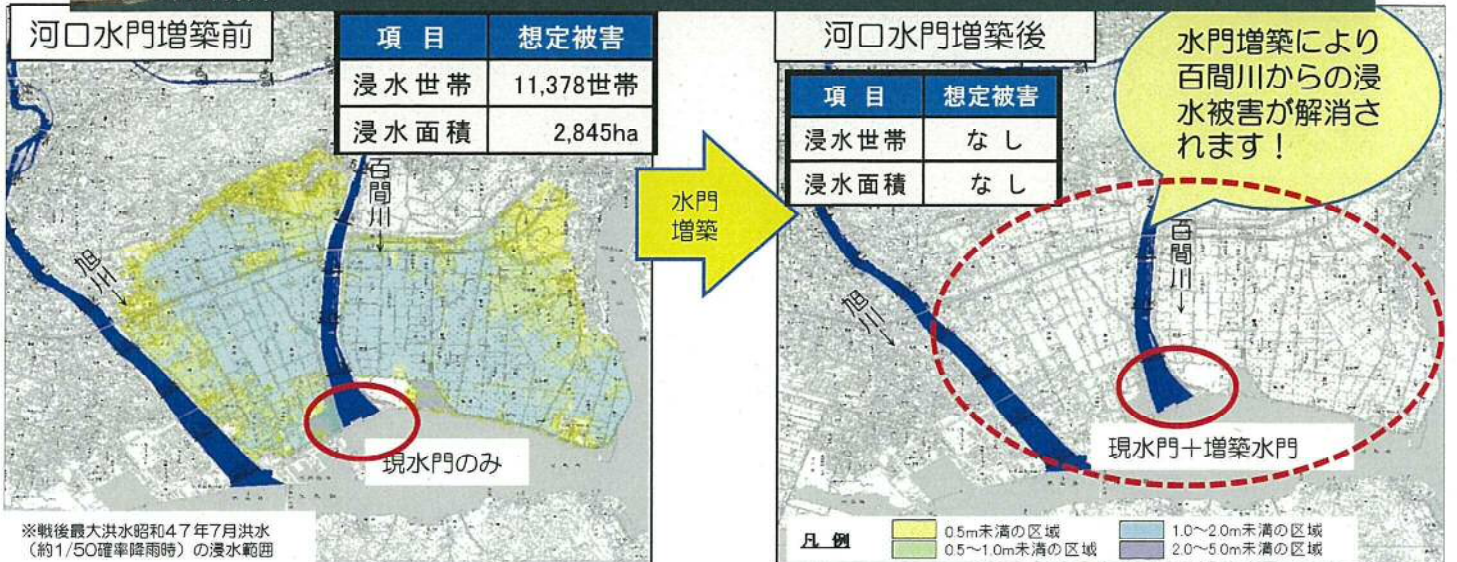
【記念運転イメージ】

来賓によるスイッチオン！ ⇒



■旭川下流部及び百間川沿川の安全を確保するため水門を増築し、排水能力が約2倍の $2,450\text{m}^3/\text{s}$ にアップすることで、河口部の洪水に対する安全度が大幅に向上します。

河口水門の増築により、百間川の排水能力が現在の約2倍に増加！



見どころ③

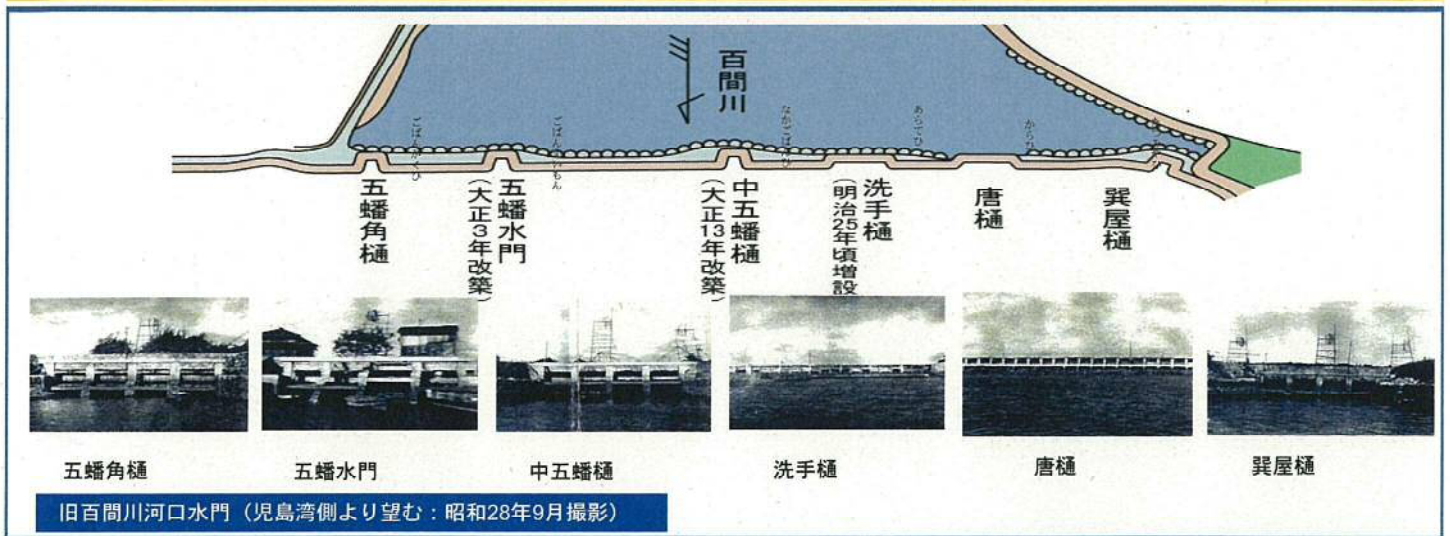
日本初！3世代の水門

～江戸時代の唐樋も復元展示しました～

既設水門(現在運用中)の築造時(昭和38～43年頃)、江戸時代より増改築を加えながら使用されてきた石の樋門(唐樋等)が撤去されました。(下図参照)

今回の新水門増築工事に際し、この石樋に使用されていた石材が発見されたため、新水門と既設水門との間の位置に復元し展示します。式典の後、唐樋の除幕式を行います。

江戸時代、昭和、平成の3世代の水門が一度に見ることが出来るのは、日本でもここだけではないでしょうか。



唐樋の復元イメージ

